

# はんさん

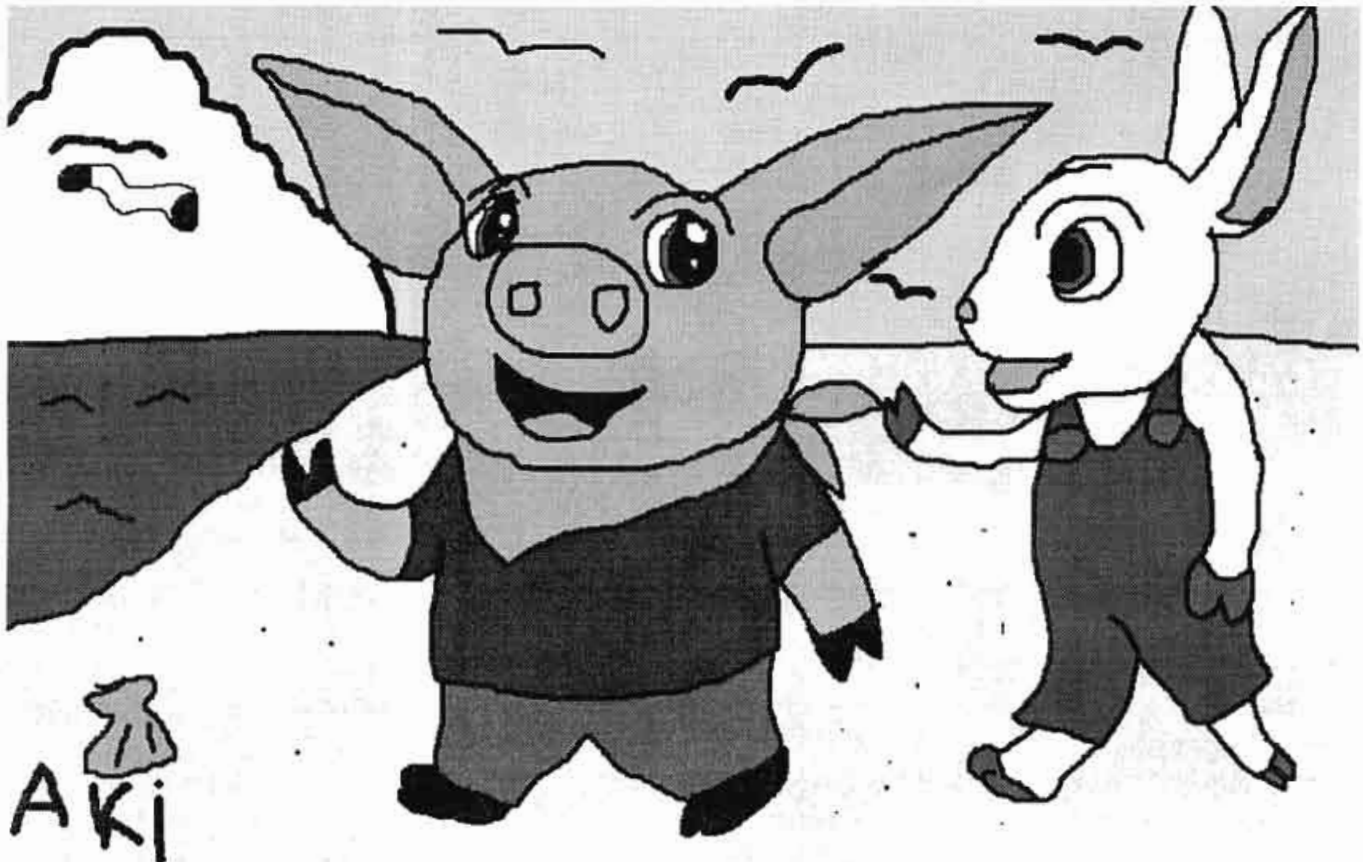
【はんさん】は【Hot And New South Akita Npo】の頭文字から名付けた造語。【県南のNPOを情報でつなく】という思いをこめました。

Vol. **3**

2005

July

平成17年7月15日



イラストレーション：小野崎 晶

## もくじ

- 【特集】 誰もが健康で生きがいを持って生きていける社会を願って…… 2
- 県外ナンバーです…… 3
- ボランティア・活動交流広場…… 4
- 応援してね。…… 4
- コラム 県南弁ゼミナール…… 4
- 応援します。…… 5
- イベント情報、助成金情報…… 5～7
- ボランティア・カレンダー、編集後記…… 8

# 特集

## 誰もが健康でえがおで 輝いていける社会を願って



鈴木佳子さん

ここ数年、健康と生活の基盤となる食のあり方を見直す動きが高まっている。とりわけ健康であれば気づかずにしてしまいがちなことでも病気になるようになってはじめて食の大切さに気づかされることもある。鈴木さんの場合も病に向かつての食生活がきっかけだったという。心と体にやさしい自然食料理教室を通して見えてきたものを鈴木佳子さんに伺った。

毎月開催される自然食料理教室。ここでは無農薬野菜や無添加の食品を使った食材で心と体にやさしい料理を作る。例えば、野菜などはほとんど皮を剥かない。捨てる部分は少ないから当然ゴミの量も少ない。可能な限り一つの食べ物を皮付き根付きのまま丸ごと食べることに「一物全体食<sup>いちぶつぜんたいしょく</sup>」。身体と環境は元をただせば同じであるからその土地や季節に合った作物を食べること。「身土不二<sup>しんどふじ</sup>」の考えが根底にある。これは三十〜四十年位前まではごく一般に食べられてきた日本の食事だったはず。栄養的にもバランスのとれている日本食を本物の食材を使って食べる。これを地域のの人たちにも広めたいということで自然食料理教室が開催されるようになった。

第29回 健康講座



夏休み親子料理教室



子どもたちと一緒に作ったメニュー

「えがおの会」のメンバーは療育保育士、助産士、栄養士、介護福祉士、元教員、フリーアナウンサー、主婦など職業も様々。みんな食、教育、環境などに関心があり二〇〇二年十一月に発足した。自然食料理教室は調理実習の部門と理論を学ぶ食養講座の部門がセットになっており、いずれも講師を呼んで学習している。まもなく三十回目を向かえ、その間春、夏、冬休みには親子で一緒に楽しむ「親子料理教室」も開催している。これが親子の絆を深めたり、食の大切さを学べるとあって好評だ。毎回不登校の子どもの参加もあり、その子の活躍は目を見張るものがあったという。この教室が一つの居場所作りにもなっている。



親子料理教室を終えて英語で遊ぶ

最近、次世代を担う子どもたちの食環境の乱れが問題視され、積極的に見直されるべき状況にある。こういった問題を解決していく意味でも講座に参加された方々が食の安全、正しい食習慣、環境問題についての取り組みを各家庭や地域で実践していくことができたなら、健康で生きがいを持って生きていける人もまちがいなく増えていくであろう。そのためにも努力を惜しまず、この活動をより多くの人たちに伝えていきたいと鈴木さんは「えがお」で抱負を語ってくれた。



食養講座

### えがおの会

代表 鈴木佳子

羽後町西馬音内堀内字岩本101-38 2-103  
TEL&FAX 0183-62-5291

## 県外ナンバーワンです

県外NPOが活躍の中心

特定非営利活動法人  
みんなの食育

東京都品川区

理事長：竹森美佐子

電話：03(5783)0881

e-mail：info@shokukiku.or.jp

http://www.shokukiku.or.jp/top\_gaiyou.html



▲子ども食育の様子

とにより、地域活動および学校教育における食育活動を推進すること、および消費者の声を地域や行政に伝え、暮らしの課題解決に貢献している。

活動内容として、

①「食育リーダーの養成」……次代を担う子供達に「食」の大切さを伝えていくための食育リーダーを養成している。栄養学的なことはもちろん、生理的、文化的な幅広い分野の講座、実習をこなし、厳しい出席率をクリアした受講生に認定書を発行する。食育リーダーは終了後、地域や専門組織で食育を広めたり、みんなの食育の事業に参加している。

②「メディアへのレシピ提供」……毎日新聞の購読者向け冊子「毎日夫人」にレギュラーコーナーをいただき、旬のものをつかったレシピを提供している。

③「コラボレート企業でのイベント企画」……消費者団体や企業とコラボレートして、食育に関するイベントを行っている。依頼企業の食材を使って調理デモンストラクションを行い、家庭でも調理者に食材への理解を深めていただき、また子供を対象とした調理実習などを企画・運営している。

# ボランティア活動交流広場

本紙に寄せられた各団体の紹介と会員コーナーです。

活動に興味を持たれた方、参加したい方は、各団体に直接お問い合わせください。

## おはなしランコロンますだ

TEL 0182-45-5556

増田

もうすぐ「おはなしランコロン」は、5歳の誕生日を迎えます。増田町図書館を拠点とし、月1回のお話しの他、小学校訪問、子育て支援サークル「ひよこルーム」や老人福祉施設訪問でのお話しと活動の輪を広げているところです。目を輝かせながら聞いてくれる人たちがいる。読んでいる私たちもそれが楽しい！だから長く続けられるのです。子供から年配の方にも喜んでもらえる読み聞かせを目指しています。

代表 黒田 恵



## 秋田なずなの会

TEL 0182-36-7445

横手

無農薬循環農法と玄米食を続けているといろんな真実が見えて来ます。大分県で一人の百姓が、畑を通して食の大切さから宇宙の法則まで様々な事を学び、そんな彼を中心になずなの会は生まれ、その活動は20年近く続いています。

今年2月、湯沢市でその百姓赤峰勝人講演会を開き、同時に秋田なずなの会が生まれました。

6月5日には、友人宅で家族総出の田植が行なわれました。子供さんのアトピーをきっかけに、無農薬米作りに挑戦しました。去年は失敗でしたが、今年は赤峰さんの話も聞き農業をやっている助っ人も得て、おいしいお米がたくさんできそうです。

会では、赤峰さんの農法を実践する為の土地を探しています。農薬化学肥料を何年も使っていない（「荒らしてる」とも言う）土地をお持ちの方、ご協力をお願いします。

代表 柿崎弘子

## つうぐ



### 県南弁ゼミナール

#### ③「まるく」の巻

「小布ちぢづつ、姉さんにまるげでもらった」は三〇年前の妹の台詞。大國語辞典にルーツは「まるく」「丸」円「だど載っている。丸めるから「束ねる」「結える」の意となり、全国的に使われてきた。「薪をまるく」「稲をまるく」はこの間まで使っていた方言。今風で言えば「古新聞まるげでリサイクルに出す」となる。

「まるく」の他に「まろかる」という動詞がある。物が丸く凝りかたまる、一つの形にかたまり合うの意。綿と布が山ほどあっても二つのものをまとめ、つなげる針と糸の知恵がないと小布団にはならない。人と人のつながり、町と村とのつながりにも知恵が必要。

いつもながら下手な川柳もどきですが、  
。声かけて 心ひろげて まるがって生きる  
。まるがれば 一人の力 倍となる

（湯沢市在住「会報シルバークサバ」編集委員 佐藤伊世子）

## 応援してね!

湯沢市にある小規模作業所「かざぐるま福祉会」では、14名の利用者がポリバック作業、ちぎれ作業、紙パッキン作業、石鯨作りに動んでいます。9年前、利用者の保護者で立ち上げた作業所です。現在抱えている課題として、利用者の増加に伴い、作業所が窮屈になってきているところです。また、手作り石鯨を売る場所を提供してくださるところも広く募集しています。



活動日：月曜日～金曜日（土日祝休）  
時間：10:00～12:00 13:00～15:00  
場所：湯沢市表町2丁目2-10  
小規模作業所「かざぐるま福祉会」  
TEL 0183-72-1616

応援  
します!

県南のNPO  
ボランティア活動



仙北地域振興局

地域企画課  
県民生活班  
主査 日景 俊也  
大仙市大曲上栄町13-62  
TEL 0187-63-5114  
FAX 0187-63-6369

秋田県は新行財政改革プログラムの目指す姿(重点テーマ)の一つとして、ボランティア団体・NPO・企業・地域自治組織・住民など多様な主体が知恵を出しながら実践する、新しい時代にあった民間主体の地域づくりを掲げており、行政改革を進めていくためにボランティア団体、NPO等との協力・連携が必要となります。

仙北地域振興局管内では、NPOからの企画提案による協働事業が実施されており、今後も様々な態様での協働が勧められるものと期待します。

また管内では、九月二〇日には仙北市が誕生し、二市一町となります。ボランティア・NPOは、新市町のまちづくりにおいて、中心的な担い手として大きな役割を果たすことが期待されています。これからの地域の活力を支える貴重な人材である子供達も、奉仕活動や体験活動に参加することにより、社会の一員であることを実感し、思いやりの心や規範意識をはぐくむことができるものであり、地域づくりの次代の担い手としての期待も大きいと思います。

最後に、少子高齢化、核家族等の進行により助け合いの人間関係が希薄になりつつある中で、人と人との絆を生み出すボランティア・NPO活動を応援していきたいと思えます。

# イベント情報

## ◆秋田県水と緑のサミット

ふるさと秋田の豊かな「水と緑を次の世代へとバトンタッチするためにみんなで森・川・海のことを見詰め直してみませんか？」  
日時：七月二三日(土)

午前10時〜水と緑の展示コーナー

午後1時〜2時15分 映像&トーク

午後2時半〜4時 バネルディスプレイカレッジ

会場：秋田市民交流プラザ「アルヴェ」

講師：中村征夫氏(写真家)

問合せ：秋田県森林環境対策室

主催：秋田県

申込み：TEL 018 (860) 1750

FAX 018 (860) 3838

## ◆子育て講演会

悩める親や教師に贈るあたらしい子育て  
勇気と責任感のある自立した子どもを育てるにはどうすればいいかについて事例をあげながらわかりやすくお話をします。

日時：七月二三日(土) 午後1時〜午後4時

会場：勤労者総合福祉センター「サンサン横手」

参加費：前売一、〇〇〇円(当日一、五〇〇円)

講師：野田俊作氏(元日本アドラー心理学会会長、現事務局長)

主催：横手エンカレッジの会

問合せ：鈴木長男

TEL・FAX 0182(32)1900

## ◆夏休み親子エコクッキング

お父さん、お母さんと一緒に親子で料理をつくって楽しみましょう!  
日時：七月二九日(金)

午前10時〜正午：自然食料理教室  
午後1時30分〜午後3時：食養講座or  
カラー粘土遊び

会場：サンチェリー湯沢

参加費：大人二三〇〇円、中学生以下一〇〇〇円

幼児 三〇〇円(材料費実費)

主催：えがおの会

問合せ：鈴木佳子 TEL 0183(62)5291

※申込み締切り 七月二六日

託児：要予約お子様一人六〇〇円

## ◆ピッカブまつり

親子で楽しめます。ヨーヨー、ポップコーン、フリーマーケット、読み聞かせ等

日時：七月三十一日(日) 午前10時〜午後3時

会場：スポーツハウス(角館元ホームセンター孤崎向)

主催：ピッカブ赤ちゃん会

申込み：佐藤あゆみ TEL 0187(52)1171

## ◆ボランティアコーディネーター基礎研修

2005

この一日で、ボランティアコーディネーションが「わかる!できる!つながる!」実践にすぐ役立つ基礎研修。

日時：八月一日(月) 午前九時40分〜午後四時40分

会場：東京文化会館四階大会議室(JR上野駅公園口改札一分)

主催：特定非営利活動法人 日本ボランティア

コーディネーター協会(JVCA)

問合せ：TEL 03(5280)2601

FAX 03(5280)2618

## ◆活動を始めよう! NPO立ち上げ講座

地域や社会の問題を解決するために「NPO」で活動する具体的な方法を学びませんか!  
日時：①NPOの活動のはじめ方：八月二日(火)午後六時30分〜午後九時30分

# 募集情報

②活動プランづくり：八月九日(火)・八月二十九日(月)午後六時三〇分～午後九時三〇分

③個人相談会：九月一六日(金)・九月一七日(土) どちらか一人四〇分程度

会場：仙台市市民活動サポートセンター  
主催：仙台市

問合せ：仙台市市民活動サポートセンター  
TEL022(212)3010  
FAX022(268)4042

## ◆ゆかたでぶらっと夏まつり

ゆかたの着付けをお手伝いします。持ち込みも貸し出しも無料です。横手の夏まつりをぜひゆかたで楽しんでください。

日時：八月十五日(月)、十六日(火)

受付：午後四時～七時

返却：午後九時半まで

会場：かまくら館四階 会議室

主催：着付けボランティアの会

問合せ：高橋美代子  
TEL0182(32)2949

## ◆NPO全国フォーラム2005北陸信越会議

「地域の力」で！ひとが育つ しくみが活きる くらしが変わる。

日時：八月二〇日(土) 午後二時～午後六時

八月二一日(日) 午前九時～午後三時

会場：上越市厚生南会館および周辺

主催：NPO全国フォーラム北陸信越会議実行委員会

問合せ：全国事務所 NPOセンター

現地事務所 くびき野NPOサポートセンター 新潟NPO協会

TEL03(5220)3911(全国)

025(521)5293(現地)

FAX03(5220)3912(全国)

025(521)5294(現地)

## ◆ボランティア募集

軽自動車を改造した移動福祉店舗でやきそばの移動調理販売を始めます。そこで、その調理販売を手伝ってくださるボランティアを募集します。

日時：八月～平成十八年三月まで

会場：秋田県南周辺

資格：障がい者の社会参加に理解があり調理(横手やきそば)の得意な方(男女不問)

週一～二回参加できる方

募集人数：五名

問合せ先：NPO法人 障がい者自立生活センター

ター「ほっと大仙」

TEL0187(62)7766

## ◆バーチャル工房：

IT技能習得実践塾受講生募集

ITを利用した在宅就労を希望する障がい者に対して、ホームページ作成の講座を開設し、障がい者の在宅での就労を目指します。

日時：十月二日(日)、十六日(日)、二十三日(日)、二十九日(土)、十一月六日(日)、十二日(土)、二十日(日)、二十七日(日) 全八回

会場：遊学舎

主催：秋田県

資格：秋田県内に暮らす障害者で、ITを活用した就労を希望する方

募集人数：十名

受講料：無料

募集期間：七月一日～七月三十一日まで

問合せ先：NPO法人 障がい者自立生活センター「ほっと大仙」

TEL0187(62)7766

## ◆第一四回ボランティアフェスティバル火の国くまもと ボランティア・市民活動メッセージコンクール作品募集

テーマ「私のボランティア・市民活動と「コミュニティ」

自分たちのまちのあり方を、市民の立場から市民の視点でつくっていかうという動きが活発になってきました。このような「まちづくり」に自ら関わっているボランティア・市民活動を通して、感じたことや学んだことをメッセージと活動報告にまとめ、お送りください。

応募者：ボランティア・市民活動の担い手として活動している方

応募内容：①メッセージ(二五〇～二〇〇字以内) ②活動報告(四〇〇字詰原稿用紙八～一〇枚程度)

応募締切：七月三十一日(日) 消印有効

応募・問合せ先：全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター

「ボランティア・市民活動メッセージコンクール」係

TEL03(3581)4656

http://www3.shakyo.or.jp/cdvc/volunteer/festival/index.html

## ◆ゆかたでぶらっと夏まつり

…着付けのお手伝い募集

ゆかたの着付けをお手伝いして下さる方を募集します。

日時：八月十五日(月)、十六日(火)

午後三時～九時半

会場：かまくら館四階 会議室

主催：着付けボランティアの会

問合せ：TEL0182(33)2949

# 助成金情報

## ◎第12回(平成17年度)ボランティア活動等助成

対象: ボランティア活動を目標とした団体・グループ(社会福祉協議会・共同募金会等の推薦を受けて下さい)

主旨: 福祉・医療分野等におけるボランティア活動の助成、ボランティア精神の啓発・普及活動等を行なうことによって、誰もがいつでもボランティア活動に参加できる環境整備を図り、国民の福祉の向上に資する。

申請方法: 所定の申込用紙により下記財団宛にお申込み下さい。

助成金: 1件あたり30万円を上限とす

## お寄せください、紙面はあなたの情報がたよりです

活動広場・イベント情報掲載記事を募集しています!

情報誌(はんさん)にあなたの団体を紹介してみませんか?

## 「県南のボランティアイベント情報」のコーナー

◎イベントタイトル◎開催日時◎会場◎問合せ先◎申し込み先・場所・電話・FAX◎内容など100字程度でチラシがあれば一緒にお送りください。(次号は7月20日以降の情報となります)

## 「ボランティア活動交流広場(会員募集)のコーナー

◎会の名前◎代表者氏名とお問合せ先の電話・FAX番号・e-mail

◎活動内容等370字程度(写真ありの場合200字程度)でお送りください。各コーナーの情報は毎月25日までお送り下さい。原則的に翌月の発行分に掲載させていただきますが、紙面に限りがございますので掲載されない場合はご容赦ください。また皆様のご意見、ご感想もいただければ幸いです。

〒013-0046 横手市神明町1-9  
南部市民活動サポートセンター  
「はんさん」編集部  
TEL:0182-33-7002  
FAX:0182-33-7038  
e-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp

る。総額:5,000万円(内、500万円は災害時ボランティア活動に対する助成)

募集期間: 9/15(木)まで

問合せ先: 財団法人 大和証券福祉財団 事務局

〒103-8219 東京都中央区日本橋茅場町1-1-9 大和証券兜町ビル

TEL. 03-3665-5147 FAX. 03-3662-0495

関連URL: [http://www.daiwa.jp/branding/kouken/dsf\\_info2005.html](http://www.daiwa.jp/branding/kouken/dsf_info2005.html)

## ◎第5回コミュニティケア活動資金助成プログラム

対象: 団体の規模や法人格の有無は問いませんが、本プログラムの理念(相互支援の輪づくり)に共感し、他の団体に対して、連携もしくは支援しているという姿勢がある国内の団体。

主旨: 全国各地でコミュニティケアに取り組んでいるNPOや市民活動団体の、新しいプロジェクト起こしを支援することを目的とした資金助成です。今年度は「暮らしのなかの介護と医療」と「暮らしのなかのつながりづくり」が重点テーマ。

申請方法: 申請書類はホームページからダウンロード、または問い合わせ先に請求。申請書類は郵送もしくは宅配便で提出してください。

助成金: 30万円×10団体、10万円×20団体(総額500万円)。

募集期間: 8/15(月)まで

問合せ先: コミュニティケア活動支援センター

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目37-8 本郷春木町ビル9階

TEL. 03-5689-0957 FAX. 03-5689-0958

関連URL: <http://homepage2.nifty.com/concare/>

## ◎米消費拡大のための斬新な取組を募集

対象: 本事業の応募ができる団体(営利団体を除く)

主旨: NPOや消費者団体等から創意工夫に富む米消費拡大の取組を募集するものです。

申請方法: 提案申請書を作成し提出してください。

募集期間: 7/20(水)まで

問合せ先: 〒100-8950 東京都千代田区霞ヶ関1-2-1 農林水産省 総合食料局 食糧部 消費流通課 流通加工対策室 米消費拡大普及班

FAX. 03-3502-5370 電子メールアドレス: gohan\_suishin@nm.maff.go.jp

関連URL: [http://www.maff.go.jp/www/press/cont2/20050620press\\_2.html](http://www.maff.go.jp/www/press/cont2/20050620press_2.html)

## ◎2005年度「女性の学習の歩み」実践・研究レポート

対象: 主旨に関心をもつ個人およびグループが応募できます。

主旨: 女性の生き方や活動をジェンダーの視点で振り返り、女性の教育・学習の歩みとしてまとめた実践・研究レポートを募集しています。

申請方法: これまでの入選レポート一覧と「2004年度入選レポート報告会」のまとめをお送りします。ご希望の方は500円切手を同封のうえ、下記までご請求ください。

助成金: 入選: 20万円 佳作: 5万円

募集期間: 9/30(金)まで

問合せ先: 財団法人日本女性学習財団 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8

TEL. 03-3434-7575 FAX. 03-3434-8082

関連URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jawe2/>

## ◎第32回(平成17年度)調査研究助成

対象: 国内の大学・研究所・病院・その他公的私的研究団体において、研究している団体又は個人。

主旨: 応募課題は「中・高齢者の保健・医療及び福祉等に関する調査研究」です。

申請方法: 本財団所定の申請書式により送付下さい。

助成金: 1研究あたり100万円(総額3,000万円程度)

募集期間: 7/31(日)まで

問合せ先: 財団法人大和証券ヘルス財団事務局

〒103-8219 東京都中央区日本橋茅場町1-1-9 大和証券兜町ビル

TEL. 03-3665-5020 FAX. 03-3661-2271

関連URL: [http://www.daiwa.jp/branding/kouken/dsf\\_info2005.html](http://www.daiwa.jp/branding/kouken/dsf_info2005.html)

# ボランティア・カレンダー

平成17年7月15日～8月15日

7/ 15(金)		8/ 1(月)	ボランティアコーディネーター基礎研修2005 (9:40～東京文化会館)
16(土)	コーチング講座(13:30～サポートセンター)	2(火)	NPO立ち上げ講座 (18:30～仙台市市民活動サポートセンター)
17(日)		3(水)	ハングル語講座(18:30～サポートセンター)
18(月)	長編アニメーション映画 (12:45～・15:00～かまくら館)	4(木)	
19(火)		5(金)	
20(水)	ハングル語講座(18:30～サポートセンター)	6(土)	
21(木)	着付教室(18:30～サポートセンター)	7(日)	
22(金)		8(月)	
23(土)	水と緑のサミット(10:00～秋田市アルヴェ) 子育て講演会あたらしい子育て(13:00～サンサン横手)	9(火)	NPO立ち上げ講座 (18:30～仙台市市民活動サポートセンター)
24(日)		10(水)	ハングル語講座(18:30～サポートセンター)
25(月)		11(木)	ヒューマニティー コミュニケーション企画2005 歌の好きな人集まれ(19:00～煉瓦屋)
26(火)		12(金)	
27(水)	ハングル語講座(18:30～サポートセンター)	13(土)	
28(木)		14(日)	
29(金)	夏休み親子エコクッキング(10:00～サンチェリー湯沢) フラダンス健康講座(19:00～サポートセンター)	15(月)	ゆかたでぶらっと夏まつり(16:00～かまくら館)
30(土)		※イベント情報は掲載後日程が変更になる場合もあります。	
31(日)			

## 編集後記

プランターに植えた朝顔がぐんぐんつるを伸ばし、元気に育っています。きれいな花が咲くのを今か今かと楽しみに待っています。

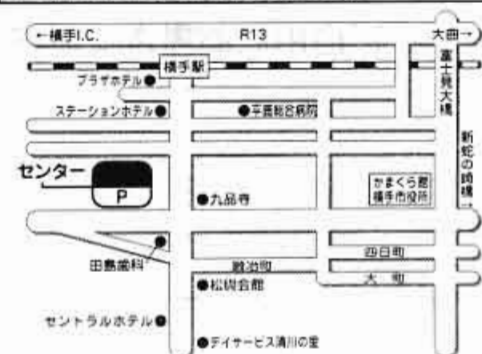
植物に声をかけてあげるとよく育つといわれていますが、人間同志も良い言葉をかけ合って行動していけば、お互いに成長していけるのかなあーと朝顔から教えられたような気がしました。

ボランティア・NPOニュース 県南版7月号  
平成17年7月15日発行  
発行：秋田県生活環境文化部県民文化政策課  
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-2  
TEL: 018-860-1520  
編集：NPO法人秋田県南NPOセンター  
〒013-0046 横手市神明町1-9(連絡先)  
TEL: 0182-33-7002

## 南部市民活動サポートセンター

どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

相談時間 午前9時～午後6時(火～金曜日)  
午前9時～午後5時(土曜・祝日)  
TEL. 0182-33-7002 FAX. 0182-33-7038  
E-mail: ssc7002@luck.ocn.ne.jp



当センターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県南NPOセンターが運営しております。